

# Mich

Minoh City Hospital

## 2008.7 Vol.16



<http://www2.city.minoh.osaka.jp/HOSPITAL/home.html>

編集発行：箕面市立病院広報委員会 ☎ 072-728-2001(内線2718)

### INDEX

1. 平成20年度 医療・看護フェア	P.1	6. 新任医師、研修医紹介	P.6~P.7
2. 部門紹介	P.2	7. 地域医療室だより	P.7
3. Wave of Nursing (看護部ニュース)	P.3	8. 外来だより	P.8
4. 診療科からのメッセージ	P.4~P.5	9. 消防訓練	P.8
5. 病院の基本理念 他	P.4~P.5	10. 編集後記	P.8

## 平成20年度 医療・看護フェアを開催しました

毎年5月に実施している医療・看護フェアを今年度は5月15日(木)16日(金)に実施いたしました。ご自身の健康や医療・介護について関心を持っていただけるよう、血圧、体脂肪、骨密度などの計測コーナーや、医療、薬剤、介護、リハビリなどの各種相談コーナーを設けました。また今年度からは、大阪青山大学のご協力をいただき、食育SATシステムによる栄養相談を行いました。このシステムは、普段の食事メニューをモデルから選び、指定の場所に置くだけで、瞬時にカロリー計算や栄養素を分析します。カロリーは気にしていても、必要な栄養素が取れていないことがわかるなど、簡単な栄養相談として人気がありました。

また、15日には、山本医務局長が講師となった骨粗しょう症の講演会には、71名の方の参加がありました。骨粗しょう症になりやすい方、防止対策としての日光浴や運動また、カルシウムやビタミンD、Kを食品から摂ることなど、日常生活で十分注意することなどの話がありました。

参加者の方からは、「健康のために、普段気をつけていることを改めて確認したり、思い違いがあったりなど参考になった」また「いろいろ相談にのってもらって良かった」などの感想をいただきました。これらの声を参考にして、来年度も医療や看護にご関心をもっていただけるような催しにしたいと考えております。ご協力・ご参加いただきまして、ありがとうございました。





## Wave of Nursing (看護部ニュース)

## 看護部の近況 看護部長 山倉 弘子

## 【新規採用者を迎えて】

7月に入り、暑い日差しが照りつけるようになりました。早いもので、新規採用者の方が入社して3ヶ月が過ぎました。

新規採用者オリエンテーションでは、医師や医療技術職員など多くの職員の協力のもと研修を実施しました。その後も、配置場所での教育が続き、先輩ナースが1年間フォローできるようにマンツーマンの指導体制を整えています。毎年、新規採用者の緊張感と不安感は私にも伝わり、自分の遠い昔の若かりし頃を思い出します。廊下やスタッフステーションで会った時、笑顔で明るい声の挨拶をされるとほっとし、そして、先輩ナースが後輩に一生懸命教えている姿を見ると頼もしく思えます。

今後も、新しい仲間と共に質の高い看護が提供できるよう努めていきたいと思えます。応援よろしくお願いたします。

## 【看護師確保に向けて】

5月からは次年度の看護師確保のため奮闘する時期になります。当院では、昨年7対1看護配置（入院患者7人に対して看護師1人が配置）を行っており、従来の看護体制に比べより手厚い看護を行っております。患者さまが安全に医療・看護を受けられるように、特に人手の少なくなる準夜勤務人数を少しでも手厚くしたいと、勤務者を3名から4名体制にいたしました。この体制を維持・継続するには、看護師の確保は不可欠です。

先日、看護部長さんたちの厚い思いと応援を背に、某看護学校への訪問と就職フェアに行ってきました。ここでは、看護部概要の説明から始まり、教育体制や先輩ナースからのメッセージ、そして当院の魅力や職員の頑張っている様子などアピールできるところは全て出しました。学生さんは、真剣に聴きいろいろな質問がありました。この日は、同行したメンバーと「たくさんの学生さんが

就職してほしいね」と願った一日でした。学生さんお待ちしております。


## 【ホームページの完成】

念願のホームページができました。皆さんご覧いただきましたか？ 看護部のホームページは、私たち看護部が首を長くして待っていたものなので喜びはひとしおです。ホームページに載っているナースから、写真撮影時は随分と緊張したと報告を受けましたが、皆明るい笑顔で載っているのが安心と同時に嬉しく思いました。このホームページを見て一人でも多くの看護の仲間が増えることを期待しています。

## ホームページアドレス

<http://www2.city.minoh.osaka.jp/HOSPITAL/NURSsaiyou/nursindex.html>

**ミスマッチは学生も病院もUn happy!**



後悔しない！  
看護学生就職活動セミナー

あなたが目指す看護師になるために！

「こんなはずじゃなかった」そんなことを思いながら看護師としてのスタートを切るのは不幸です。だから「ミスマッチ」で就職先を供ふるものは無いのです。このたび、就職コンサルタントをお招きして看護学生のみならずの「就職活動」「職種選び」をお手伝いさせていただきます。そしてまた、私たちの病院のことも少し知ってもらえれば幸いです。

受講無料

**2008年7月30日(水) 14時～16時 (受付13時～)**  
**於：箕面市立病院リハビリ棟4階 箕面市東野5-3-1**

プログラム 講師：石田秀樹  
 講演 「就職してから後悔しないためには？」  
 ワーク 「病院探ししてみよう」  
 何を志す自分に合った病院を探せばいいの？

パルミアスカンパニー「先輩の就職活動体験談」 お申し込み方法：電話またはFAX(氏名・連絡先を記載)でお申し込みください。  
 アドバイス 「面接の心構え」とは？ 「後悔しない」看護学生就職活動セミナー事務局  
 意見交換 他校の学生との交流 (箕面市立病院就業企業関係内)

電話 072-728-2004  
 FAX 072-728-8232

## 病院情報コーナー

4月に、病院情報コーナーを1階ロビーに設置しました。このコーナーは、市立病院の医療全般に関する情報を患者さまに提供し、当院をPRしていきたいと考えております。書架の上のトレーには、各診療科のホームページを印刷した用紙を置いております。今後もいろいろな情報を収集し、提供したいと思えます。



## 診療科からのメッセージ



皮膚科

松本千穂

### 皮膚科「夏に多い皮膚疾患」

汗ばむ季節となりました。皮膚疾患には季節性があり、夏に多いもの、冬に多いもの、季節の変わり目に多いものがあります。今回は夏に多い皮膚疾患をご紹介します。

まず日差しがきつくなることから起こる日光皮膚炎(日焼け)があります。上半身が真っ赤っ赤になった方が受診されると、ああ夏がやってきたと実感します。プールサイドや海辺での昼寝は禁物です。必ず日焼け止めを塗りましょう。女性の方、男性の方でもお肌のシミを気にされる場合は必須です。紫外線の増加で皮膚がんが増えると言われていまして、シミの色が変わってきた、急に大きくなったなどの変化があれば、皮膚科を受診しましょう。

山や海では虫刺症(虫刺され)が多くなり、山では蜂、海ではウニ棘(とげ)刺症、サンゴ皮膚炎など海洋生物による皮膚炎も増えます。虫刺されでは虫の種類によってはブユなど、普通の蚊に比べ少し遅れて激しい痒み、しこりが出るも

のがあるので、早めにステロイドの塗り薬などで治療をしましょう。

夏には汗をかくことが多くなるので、そのためとも言われる手足に痒い水疱をつくる汗疱という皮膚疾患もあります。水虫と間違えて市販の塗り薬をぬってかえって悪化させる場合もありますので、症状が長引く時は皮膚科を受診してください。また夏といえばマムシです。この北摂でもマムシに咬まれる方がおられ、市立病院の皮膚科にも年に一人二人は入院されます。深夜や早朝の草むらによくいますので気をつけて下さい。咬まれたらすぐに市立病院を受診してください。マムシ抗毒素を常備しています。

毎年夏が暑くなっていると感じますが、実際に地球温暖化が進んでいるようで、それに伴い増加するのが感染症と言われていまして、ここ10年程でも(皮膚の表面から細菌が入り赤く腫れて痛みを伴うもの)の患者さんが増加しているように思われます。特に足は毎日よく石鹸で洗って清潔を保つように心がけましょう。

## 改正！病院の基本理念と基本方針

### 箕面市立病院の基本理念

担うべき医療を、チーム一体となって、より安全に

### 箕面市立病院の基本方針

1. 私たちは、急性期医療を担う病院として、入院を主体とした高度・専門医療及び救急医療を推進します
2. 私たちは、地域の医療機関及び保健・福祉施設と連携し、地域医療の充実に努めます
3. 私たちは、すべての職種が協働して患者さまの治療に取り組むチーム医療を実践します
4. 私たちは、患者さまに安心していただける安全で質の高い医療を提供します
5. 私たちは、常に向上心を持ち知識と技術の習得に努め、医学の進歩に寄与し、人間性に満ちた医療人となるよう励みます
6. 私たちは、患者さまに満足していただける医療を行うために、職員一人ひとりが生き生きとした、働きがいのある病院を創ります
7. 私たちは、将来にわたって安定した医療サービスが提供できるように、健全な経営を目指します

平成20年(2008年)4月8日



眼科

西  
泰  
雄

## 眼科「糖尿病網膜症について」

近年、糖尿病の患者さんが急増していますが、糖尿病の合併症のひとつである「糖尿病網膜症」のため失明にいたる場合がある事をご存知ですか？

眼球の奥には、網膜というカメラのフィルムにあたる膜があります。網膜には細かな血管が密集していますが、血糖値が高い状態が続くと血管がもろくなり、血液が漏れ出たり（いわゆる眼底出血）、血液のめぐりが悪くなったりします。その結果、酸素や栄養が不足し、網膜の破壊が進み視力が徐々に低下します。

しかし、糖尿病網膜症は悪化するまで視力が低下せず、また眼底出血が生じても痛みを伴わないため、糖尿病網膜症の発症に気付かぬまま日常生活を送っている患者さんも多数おられます。糖尿病網膜症に対する網膜光凝固術（レーザー手術）は実施する時期が重要ですが、このような患者さんの中には手遅れになるケ

ースもみられます。

そこで、糖尿病の患者さんや、ご家族には「定期的な眼底検査が重要」という事をご理解いただきたいのです。必要な受診回数は糖尿病を発症してからの期間や血糖コントロールの良し悪しによって、「毎月」から「年に一度」と個人差があります。

眼科での眼底検査は、人間ドックや検診で行うカメラを用いた眼底検査と異なり、瞳を開きますので検査後3～4時間はまぶしく感じ運転ができません。ご自身で車やバイクは運転せずに受診して下さい。

一旦低下した視力は元へ戻すことができず、わが国で毎年約3,000人もの人が糖尿病網膜症によって失明しています。どうか定期的な眼底検査を忘れぬようお願いいたします。

## 改正！患者の権利と責務

私たちは、医療の中心は患者さまであることを深く認識し、患者さまと 職員との信頼関係に基づいた医療を推進

するため、ここに「患者の権利 と責務」を定めます。

### 患者さまの権利

1. 個人としてその人格が尊重される権利  
人間としての人格が尊重され、職員との相互の信頼及び協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. 良質な医療を平等に受ける権利  
社会的経済的地位、信条、性別、障害の有無などの有無に関わらず、良質な医療を平等に受ける権利があります。
3. 十分な説明を受ける権利  
自分が受ける治療や検査に関して、その効果や危険性、ほかの手段の有無などについて、納得できるまで説明を受ける権利があります。  
また、他の医師の意見（セカンド・オピニオン）を聞く権利があります。
4. 自分の受ける医療を自ら決定する権利  
自分の治療計画を立てる過程に参加して意見を表明し、治療方針を決定する権利があります。
5. 自分が受けた医療について知る権利  
自分が受けた医療について、結果の説明を受け、必要な場合には診療録の開示等による情報提供を求める権利があります。
6. プライバシーの保護を受ける権利  
診療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります。

### 患者さまの責務


1. 正しい診断や治療を受けるために、自分の健康に関する情報を正確に提供してください。
2. 治療に関する説明は、十分に理解できるまで質問し、納得したうえで治療を受けてください。
3. 病気に対してしっかりと向き合い、治す努力をしてください。
4. 他の患者さまの治療や職員による医療提供に支障をきたすことのないように、病院の規則や社会的ルールを守ってください。

平成20年（2008年）7月1日

# 新任医師・研修医紹介



①所属科 ②卒年 ③自己紹介

 **小室竜太郎**  
①内科・栄養部  
②平成2年卒

③大阪大学内分泌代謝内科から4月に異動してまいりました。これまでは動脈硬化性疾患の診療・研究を中心にする事が多かったのですが、現在は糖尿病・高脂血症や甲状腺疾患他、内分泌代謝疾患を中心に診療しております。臨床の現場に立つことが久しぶりで感概苦悶しておりますが、よろしくお願いします。

 **白銀 隆宏**  
①内科  
②平成6年卒

③4月からお世話になっております。内科疾患だけでなく、さまざまな初診の患者さんをご対応の限りの確に診断し、各専門科の先生につないでいけるよう、自分の診断能力を高める努力をしていきたいと考えております。

 **有瀧健太郎**  
①小児科  
②平成8年卒

③4月より小児科で勤務しております。専門は内分泌と血液疾患ですが、総合診療という小児科全般の診療経験があります。関西で働くのは初めての経験で、不慣れな点もあるかと思いますが、よろしくお願いします。

 **井下 哉江**  
①皮膚科  
②平成12年卒

③5月から箕面市立病院で働かせていただくことになりました。ここ数年は結婚、育児でしばらく仕事をセーブしていたのですが、この5月からフルタイムになり、忙しいけど充実した日々を送っています。よろしくお願いします。

 **井端 剛**  
①内科(内分泌)  
②平成12年卒

③4月より箕面市立病院にお世話になることになりました。慣れない面も多々あり、いろいろ皆様にご迷惑をおかけするかもしれませんが、一日も早く病院の戦力になれるよう努力していきますので、よろしくお願いします。

 **金野 浩**  
①小児科  
②平成12年卒

③4月より小児科でお世話になります。長崎大学卒で、府立羽曳野病院でアレルギー疾患、愛染橋病院で新生児を主に勉強してきました。まだまだ未熟者でご迷惑をかけると思いますのでご鞭撻、ご指導のほどよろしくお願いします。

 **亀山 竹春**  
①消化器内科  
②平成12年卒

③4月から箕面市立病院に勤務させていただきました亀山です。箕面にきてよかったと思えるような医療を提供できるように日々努力して行きたいと思っています。技術と誠意をモットーに動んでおります。よろしくお願いします。専門分野は胃、腸、膵、胆膵内視鏡です。

 **市川 瑠美子**  
①内科  
②平成13年卒

③こちらでは、4月から勤務させていただきます。今後は糖尿病の予防・治療について、専門的に勉強させていただきます。よろしくお願いします。



 **山北 剛史**  
①消化器内科(胃腸科)  
②平成13年卒

③4月より当院にて診療させていただきましたことになりました。院内での診療だけでなく、地域医療にも貢献できるように努力していく所存です。



 **上阪 裕香**  
①泌尿器科  
②平成16年卒

③初期研修を終えた後、大阪中央病院で2年間、尿失禁・性器脱といった女性泌尿器分野を中心に診療してきました。今後は、泌尿器科を総合的に診れるようになりたいと思っています。

 **上杉 和弘**  
①整形外科  
②平成17年卒

③3月までは愛知県の病院で勤務しており、4月から当院でお世話になっています。日々勉強で様々な事を学んで行きたいと思っています。異なる環境で多くの戸惑いもありますが、これからもよろしくお願いします。

 **金子 恵子**  
①整形外科  
②平成17年卒

③4月より整形外科にて研修させていただきます。よろしくお願いします。





**安西 香織**

①小児科  
②平成18年卒

③はじめまして、4月から箕面市立病院小児科レジデント1年目として勤務させていただいています。現在は、病棟、外来、乳児検診など見させていただいています。まだまだ未熟者ですが、気軽に相談できる小児科医を目指し頑張っていきたいです。



**酒井絵美子**

①小児科  
②平成18年卒

③4月から小児科レジデントとして週1回の外来、乳児健診、救急外来、病棟等さまざまな場所でお世話になることと思います。子どもたちが元気に温かくまあるい心で過ごせるよう、自分自身も楽しく頑張っていけたらと思っています。よろしくお願いします  
o(^o^)



**二木 俊江**

①内科  
②平成18年卒

③初期研修医のころより箕面市立病院で勤務しています。本年度もよろしくお祈りします。



**増田安紀子**

①産婦人科  
②平成18年卒

③平成19年から箕面市立病院で勤務させていただいています。今年からは産婦人科に固定勤務となりました。よろしくお祈りします。



## 地域医療室だより

### 昨年度の医療相談を振り返って

医学の進歩に伴い多くの病気が軽快あるいは完治するようになりました。これは大変喜ばしいことなのですが、それに伴って医療あるいは介護が必要な状態で退院される方が増えているのも事実です。そのような患者さまとご家族が抱える療養に関わる課題を一緒に解決していくのが地域医療室の医療相談業務です。

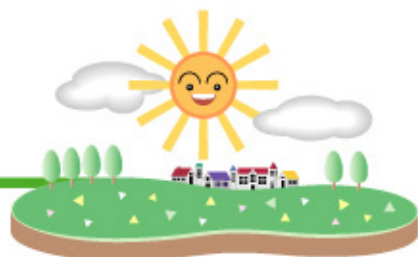
地域医療室では、3名の看護師と1名のソーシャルワーカーが医療相談業務を行っています。昨年度は700ケース以上の患者さまの相談をお受けしました。月別に見ると年度当初は40台だったケース数が年度末には80ケースを超える月もあり、私たちも日々の業務の忙しさからその数値を実感しているところです。

相談内容として最も多いのは「転院・施設利用に関すること」で全体の6割を超えました。その内急性期治療を終えた後の療養目的の転院に関する内容が全体の半数、がん治療後の緩和ケア目的の転院に関する内容が2割弱でした。また施設入所では、入院による筋力低下で生活動作レベルが変化した方が介護老人保健

施設を希望されるケースが最も多くなっています。また多くの患者さまがこの地域から離れたくないという気持ちが強く、北摂地域の病院、施設の利用が圧倒的に多くなっています。今後も退院後自宅で過ごすことに不安を感じる患者さま、ご家族の気持ちに沿いながら、適切な施設をご一緒に探していきたいと思っております。

次に多いのが「在宅ケアに関すること」で全体の3割を占めました。介護サービス導入のためのケアマネジャーとの連携や、かかりつけ医、訪問看護ステーション、地域の保健師との連携が主で、在宅サービスのスムーズな導入を図るため、患者さま、在宅サービス担当者を含めたカンファレンスも積極的に行っています。自宅に戻られる患者さまの喜びや、在宅サービスに熱心に取り組まれる担当者との共同作業に学ぶことが多い毎日です。

入院中の方だけでなく外来の患者さまにも対応しておりますので、ご自宅での療養などに不安を感じられたときは地域医療室までご相談ください。



## 外来だより

喫煙は基本的に薬物依存と同じニコチン依存症であり、本人の意志だけで禁煙ができる喫煙者はごくわずかということが明らかになりました。当院の耳鼻咽喉科では、禁煙を決意された皆様のために禁煙外来を開設しております。

受診の方法は、完全予約制です。木曜日の15時から17時まで、4名までとなっております。初回来院時、問診票を記入していただき、禁煙意志を確認し、患者様にあった禁煙方法を考えて禁煙開始日を決めていきます。又、受診毎に呼気一酸化炭素の測定を行い、体内のニコチン濃度を調べます。

標準禁煙方法プログラムは12週間にわたり合計5回に分け、2～4週間毎に禁煙外来を受診していただきます。さらに禁煙状況の確認と精神的サポートのため、看護師による電話訪問も実施しています。

治療としては、ニコチンパッチ、7月導入予定の新薬（内服）パレニクリンがあります。

保険適応となるには条件がありますので、詳しくは耳鼻咽喉科外来までお越しになり、ご相談下さい。

禁煙治療中「タバコを吸いたい。」という気持ちや離脱症状が現れることがあるかもしれません。禁煙外来ではそのような時もアドバイスをを行い、患者様の精神的サポートができるように努めています。

是非、一度禁煙外来へ足を運んでみてください。お待ちしております。



## 消防訓練

3月18日（火）に、市消防本部の監修のもと、大規模な消防訓練を実施しました。火災を想定し、避難シューターを使った避難経路の確認や、水消火器を使った消火訓練などを行いました。



## 平成19年度患者数調べ

区分		19年度	18年度	対18年度 増減・比率	
外来	延人数	173,463人	185,328人	▲11,865人	94%
	一日平均	708人	756人	▲48人	94%
入院	延人数	97,470人	90,652人	6,818人	108%
	一日平均	266人	248人	18人	107%
	利用率	84%	85%	▲1%	-
紹介	紹介患者	7,190人	7,709人	▲519人	93%
	逆紹介患者	8,867人	8,844人	23人	100%

### 編集後記

病院機能評価の受審が目前になりました。Michも広報誌としてエントリーしており、気にはしています。と言っても急に作成能力がアップするわけでもなく、いつも通りになりました。

受審が終われば、本格的な夏。夏の皮膚病や眼の疾患について本誌を参考にして、注意をしましょう。